

港湾物流関係者の業務をサイバーポートで一体的に効率化  
～複数の主要事業者参加のトライアル、三島川之江港で全国初開催～

サイバーポートは、港湾全体の生産性向上に向けた取組を推進するために、国土交通省が保有・運用し、港湾物流や行政手続等の港湾関連手続を電子化するデータプラットフォームです。

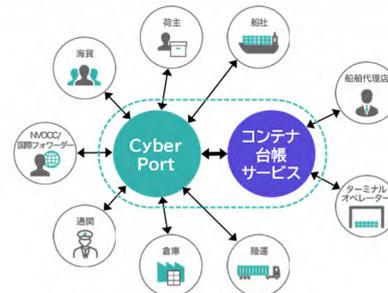
港湾物流関係者一体でのサイバーポート導入モデルの形成に向けて、全国で初めて三島川之江港において、同港の主要4事業者が参加したトライアルを5/21に開催し、輸出入12件のコンテナの搬出入の手続を行いました。今後、本トライアルを踏まえ、三島川之江港における本格運用や全国への水平展開を進める予定です。

- 背景:** サイバーポートは、一社での導入でも社内の情報連携の円滑化や輸出入申告の効率化等に貢献しますが、事業者間の情報伝達や手続に活用することでさらなる生産性の向上が可能になります。しかしながら、取引のある複数の事業者が一体となってサイバーポートを導入するような事例は、これまで出てきておりませんでした。三島川之江港では、複数の事業者からサイバーポートの導入に関心を寄せていただいたことをきっかけに、令和5年より、同港の関係者が参画した会議体を設置し、港湾物流関係者一体でのサイバーポート導入に向けた取組を推進してきました。
- 目的・取組内容:** 三島川之江港で利用されているターミナルオペレーションシステムである「コンテナ台帳サービス」とサイバーポートとのシステム間連携が実装されたことを踏まえ、同連携によるコンテナターミナルへの搬入・搬出やデマレージ料の問合せ等の業務効率化の効果を検証するため、三島川之江港の主要4者が参加したトライアルを5/21に開催しました。

<トライアルの概要>

日時	令和7年5月21日(水)
場所	三島川之江港
対象案件	12件(輸出5件、輸入7件)
対象手続	輸出:空コンテナの引取、実入コンテナの搬入 輸入:実入コンテナの引取 ※デマレージ料:輸入コンテナの超過保管料
参加者	ターミナル・船舶代理店: 大王海運(株)、日本興運(株) 海貨業者・通関業者: 川之江港湾運送(株)、三島運輸(株) ※大王海運(株)、日本興運(株)は海貨業者・通関業者も兼ねる システムベンダー: 正興ITソリューション(株) 地元自治体: 四国中央市

三島川之江港におけるサイバーポートの導入イメージ



<トライアルの結果>

概要	一部改善が必要な箇所(システム間の連携不備等)も見つけたが、概ね予定通り手続を完了
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来は、重量情報・シール番号をゲートで手打ち入力していたが、サイバーポートからコンテナ台帳サービスに反映されるので、入力が不要となり、業務が効率化できる。</li> <li>QRコードを使って搬入票を見ることができ、こうやってDXが進んでいくんだなと実感した。</li> <li>システム間で一部項目が反映されていない箇所があり、改善が必要だが、ペーパーレスが進んだと感じた。現場でも見やすい画面だなという印象。</li> </ul>

会場でのトライアル状況



スマートフォンによる対査の状況



- 今後の予定:** 港湾物流関係者一体でのサイバーポートの導入は、業務効率化や生産性向上等の効果を最大化し、港湾の持続可能性の確保等にも資することから、三島川之江港における本格運用に向けた取組を推進するとともに、三島川之江港の導入モデルの全国への水平展開を進める予定です。

<参考>

- Cyber Port ポータルサイト: <https://www.cyber-port.net/>
- Cyber Port 利用申請ページ: <https://www.cyber-port.net/ja/application/>

【問い合わせ先】

港湾局 参事官(技術監理・情報化)室 長津、金枝上、山下、神野  
代表: 03-5253-8111(内線 46535、46544) / 直通: 03-5253-8681  
メールアドレス: [hqt-cyberport@ki.mlit.go.jp](mailto:hqt-cyberport@ki.mlit.go.jp)  
(★を@に置き換えてご連絡ください。)

